



力を合わせてがんばった!

87日間の二学期

【二学期終業式・校長の話より】
(前略) 2020年もあと一週間。8日目には、新しい年2021年がスタートします。明日から始まる冬休み、時間はいっぱいあると思うので、必ず新しい年の目標を決めてください。なぜ目標をもたなくてはいけないかについて、目標をもつ大切さから話をします。

「10133回」、これは何の数字だと思いますか? この数字は、みなさんも休み時間などによくしているなわとび、そのなわとびの二重跳びの世界チャンピオンの記録です。すごいですね。みなさんは、二重跳びは何回跳べますか? この世界チャンピオンは、なんと日本人で、「鈴木勝巳さん」という方です。鈴木さんは小学校に入学した時は体が弱く、先生に勧められてなわとびを始めました。最初は全く跳べなかつたそうですが、少しずつ練習を重ねて小学2年生の時は、二重跳びを203回跳んで、学校のなわとび大会で優勝しました。鈴木さんは、その後も練習を続け、三重跳びも四重跳びも五重跳びもなんと六重跳びもできるようになったそうです。三重跳びは441回、四重跳びは98回、五重跳びは20回、六重跳びは1回が鈴木さんの記録です。四重、五重、六重とびの記録は、今でも世界一の記録だそうです。鈴木さんはもう一つ、縄跳びの世界記録もついています。それは、なわとびを跳び続ける時間です。みなさんなら、どれくらい長く跳び続けられますか? 鈴木さんの、時間跳びの記録は、「9時間46分1秒」です。朝、みなさんが、「おはようございます」とあいさつをして学校に来て、お昼の給食を食べ、さよならのあいさつをして家へ帰っても、まだ跳び続けているのです。

「継続は力なり」という言葉を知っていますか? 「小さなことでも努力を続けていけば、やがて一つの大きなことが達成できる」という意味です。努力を続けるためには、めざすゴールが必要です。それが目標なのです。鈴木さんも、最初はなわとびを跳べるようになる、次は二重跳びをとべるようになるという目標をもって努力をし、それができれば、回数をもっと増やす、三重跳びや四重跳びができるようになるなど、常に新しい目標をもって努力を続けてきたそうです。70歳を超えてからの目標は、80歳で三重跳びを80回跳ぶことだったそうです。みなさんも、新しい年に、是非、努力して達成したい目標を立て、鈴木さんのように、「継続は力なり」を合言葉にして、1日1日、少しの時間でも努力を続け、目標を達成していきましよう。



【年末・年始】
新型コロナウイルス
感染症に関する
連絡の仕方

明日から子どもたちが楽しみにしている冬休みがスタートです。先日、生徒指導だより等でもお知らせしたように、休み中、学校に連絡する場合は、57-5120までお願いします。

但し、年末・年始の6日間(12/29~1/3)は学校が閉庁しています。その間の、新型コロナウイルス感染症に関する連絡は、以下の方法を御参照ください。

変更 (12/25)

本校は、ミッタメールによる報告方法をお知らせしていましたが、市教育委員会より、市内統一の連絡方法の通知がありましたので、そちらに変更します。

① 児童に感染が判明された場合は、市役所本庁の守衛室(23-3950)に連絡をします。

② 連絡内容は、学校名、学年、氏名、そして感染が確認された旨の報告です。

③ 連絡を受けた内容は教育委員会に報告され、そこから学校(管理職)に連絡が入ります。

④ 必要に応じて、学校から、児童の緊急連絡先に連絡させていただく場合があります。

以上は、年末・年始6日間のみの対応です。

がんばった子どもたち④

◎さぬきっ子LD記録会

第1位	6年女	武藤	心温
第3位	5年女	眞鍋	颯希
第3位	4年男	藤田	凜音
第4位	4年男	武藤	優心
第4位	4年女	藤井	柚愛



【最優秀】	5年	大谷	凜央
【優秀】	5年	白川	瑞歩
6年	山本	莉乃	
6年	石山	日向	
6年	福山	奈央	
6年	塩田		

◎国際平和ポスター2020